

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成 31年 3 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービスキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		・活動メニューで使う物だけで出すようにしてスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	50%	50%	・外出等の時はスタッフを1対1に配置している	・新学期からスタッフを増員して対応し、さらに安心安全を目指します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%		・スロープ、手すり等が適切に配置されている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	25%		・月に一度のスタッフミーティングで日々のケアから出てくる問題点や個別の案件を話し合う時間を作り、改善に繋げていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	75%	25%	・今回のアンケート結果を元にホームページにて公開する。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		・ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		100%		・第三者による外部評価を受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	50%	50%	・各スタッフに新人研修を開き、その後は能力等に応じて資格取得の機会を確保している。	・今後は外部研修も取り入れて行きます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		・日々の送迎時等での会話に加え、おおむね半年に一度のペースでアセスメントを行い、個別支援計画を更新している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		・半年に一度のペースで統一した書式のアセスメントシートを作成・更新している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	75%	25%	・毎月の活動内容の事前打ち合わせに加え、スタッフ全体ミーティングにて改善点を毎月検討し更新している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	50%	50%	・毎月の活動内容の事前打ち合わせに加え、スタッフ全体ミーティングにて改善点を毎月検討し更新している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	50%	50%	長期休み等で課題が変われば事前に児童さんにお伝えしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	75%	25%	基本的には集団活動を行い自由時間等で宿題・創作などの個別活動を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%	・日々の出勤時に引継ぎを行い情報共有することに加え、毎月のスタッフミーティングでは長期的な変更点や支援方針等を共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	・日々の退勤時に引継ぎノートを活用したり、相互報告を行い情報共有することに加え、毎月のスタッフミーティングでは長期的な変更点や支援方針等を共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	75%	25%	・日々の支援内容を記録し、支援を検証し、改善につなげている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	75%	25%	・その都度変更があれば実施している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%		・自立支援と日常生活の充実を図る活動を行いながら自由時間に創作余暇活動を行うまた社会福祉教員会で地域交流を行う	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75%	25%	・管理者が常勤スタッフが参加しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%		・親御様を通じて学校行事予定表をいただくようにしている。 ・学校とのやり取りは何かあったらいつでも連絡できる関係を作っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%		・各利用者様の主要な医療機関情報を親御様から事前に伺い、必要に応じて主治医、嘱託医と連携が取れる体制を整えている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	25%	75%	・引継ぎの際には各事業所の担当者同士で連携し、情報交換やケアの説明等を受けるようにしている。	・代表者が連携を受けた情報を各スタッフにも確実に共有していけるよう、日々の情報共有の時間やスタッフミーティングの時間を有効活用していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%		・担当者会議等でお伝えしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		100%	・代表者が適宜、情報連携を受けられるようになっている。	・代表者が連携を受けた情報を各スタッフにも確実に共有していけるよう、日々の情報共有の時間やスタッフミーティングの時間を有効活用していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%		・地域の交流イベントに参加予定
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	100%		・毎回参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		・お迎え時やお送り時にその日の様子や発達の状況をお伝えしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75%	25%	・日々の送迎時でのコミュニケーションに加えて、懇談会やケース会議、必要に応じて相談を受け助言等ができる体制ができている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		・利用契約の際に全て書類と共に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		・必要な方は随時自宅に訪問する時間をとって支援している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75%	25%		・今後検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		・苦情対応の体制は整備し周知している。苦情・ご要望があった際には迅速かつ的確な対応を心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		・「プランニング富士しんぶん」を年4回発行し、各利用者様に配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%		・十分注意して管理しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		・ご家庭に合わせて配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%		・今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%		・誰でも見れるようにマニュアル等を管理しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	75%	25%	・年に2度の避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	75%	25%	・虐待のニュースなどがあればスタッフ間での話題にあげ、興味を向けるようにしている。	・研修の機会を検討したり、会議の際や普段の会話にも時事問題等を欠かさないように心掛けていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		100%	・そういったケースがないので実施していない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		・契約時等に事前にお聞きし対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	75%	25%	・必要に応じてひやりはっと報告書を作成し、記録に残している。	